

## 国土交通省中部地方整備局との意見交換会

### 三重県商工会議所連合会

令和2年12月9日（水）三重県商工会議所連合会（会長 種橋潤治）は、WEB会議による国土交通省中部地方整備局との意見交換会を開催しました。

国土交通省中部地方整備局(名古屋市)とユマニテクプラザ(四日市市：四日市・鈴鹿・桑名・尾鷲・熊野)並びに県内商工会議所(津・伊勢・松阪・上野・亀山・名張・鳥羽)を結び、意見交換会を開催し、県内12商工会議所の会頭や副会頭、専務理事の25名が出席し、国土交通省からは中部地方整備局の堀田治(ほりたおさむ)局長をはじめ担当部長等の9名が参加しました。



▲ 挨拶をする堀田局長（左）と種橋会長（右）

種橋会長は挨拶の中で「コロナ禍であっても地方創生は着実に推進していく必要があり、そのためには、地域経済の発展を支える社会基盤の整備が必要、近年、頻発・激甚化する自然災害から命や財産を守る強靱な県土づくり、さらには、新型コロナウイルス感染拡大により顕在化した首都圏一極集中の問題の解消のため、豊かで暮ら

しやすい地域の形成と多核連携型の国づくりを進めるうえで大都市部と地方をつなぐ道路ネットワークの整備が極めて重要であり、産業界としては、大きな期待を寄せているところである」と話しました。

堀田局長からは「国土交通省としては、感染防止にも配慮しながら、同時に経済活動を止めないことが重要であると考えており、我々としては公共空間を活用した経済活性化、感染対策を行いながら営業する店舗の支援として、道路空間の開放等を行っている。中部圏は、「ものづくり」産業が集積する地域ということもあり、今までの社会資本整備は「ものづくり」の視点から行っていたが、「ことづくり」の視点をもって取り組んで行く必要があり、そのためには、商工会議所の皆様をはじめとして、様々な分野との連携を進めることが重要であり、引き続き要望等をお願いしたい。」と挨拶がありました。



中部地方整備局（上） ユマニテクプラザ（下）



▲オンライン参加（津商工会議所）

その後、中部地方整備局から経済界と社会資本整備の連携について説明、各商工会議所から道路網整備の促進、港のインフラ整備、海岸整備、河川改修、規制緩和などについて地域の実情を踏まえた要望等がありました。